



Epson Photo Grand Prix 2021



エプソンフォトグランプリ2021 入賞作品集

エプソン販売 株式会社



田沼 武能

今年はコロナ禍という大きな問題があって、多くの人が写真を撮れなかったのではないかと思います。その影響は大きく、写真から活気や強さといったものが、感じにくいように思いました。例年は、選考しているときに各作品が競って自己主張しているかのようを感じることがあるのですが、今年は、比較的おとなしかったようです。そうしたことを防ぐには、作者が感動しながら撮るということが大切です。作者の好奇心や感動が最初にあって、撮影して作品化し、その作品を見た人に感動が伝わるという循環ができるのがベストだと思います。コロナ禍で外に出られなくても、さまざまな工夫をして撮影して応募していただいているのだと思いますが、どうか被写体に感動し撮影することを忘れないでください。じきに新型コロナもおとなしくなるでしょうから、そうしたら、外に出て感動しながら自由に活発に写真を撮りましょう。それが写真を撮る人の醍醐味です。ぜひそうした状況になってほしいと願っています。



Profile

1929年東京都生まれ。1949年東京工業専門学校卒業。木村伊兵衛氏に師事する。高度成長以前の東京の様子や下町の暮らしを撮り始めると共に、世界各地の子供の写真を撮り続ける。『文士』『人間万歳』『輝く瞳世界の子供』『トットちゃんとアフガニスタンの子供たち』『地球星の子どもたち』『武蔵野讃歌』など、数多くの写真集を出版。『ぼくたち地球っこ』『戦後の子供たち』『60億の肖像』など写真展も数多く開催。また、32年間にわたりユニセフ親善大使の黒柳徹子さんに同行、親善大使と子供の交流の撮影を続ける。モービル児童文化賞、菊池寛賞など受賞多数。1990年紫綬褒章受章。2003年文化功労者顕彰。2019年には写真家として初めて文化勲章を受章。2020年朝日賞特別賞受賞。現在、日本写真著作権協会会長、東京工芸大学芸術学部名誉教授を務める。



三好 和義

まず、今回の応募作品の特徴を見てみると、コロナ禍のため、過去の写真を探し出してきた作品や、自然の中で1人で撮った作品が多かったと思います。ヒューマンライフ部門や学生部門には、被写体がマスクをしている写真が多く、時代を反映していて、ある意味で優れたドキュメンタリーになっていると感じました。次に各部門の作品をあらためて見渡してみると、様々な分野の写真が集まり、見ていて満足感がありました。これが、写真展のかたちになったら、さらに面白くなると思います。大きなプリントで作品を見ると迫力が増しますが、プリントするデータも、綺麗に現像して、自分なりの作品に仕上げる方が増えたようです。プリント用紙も、多くの方が作品テーマに合ったものを選んでいて、深みのある作品になっていました。これらは、エプソンのコンテストならではの面白い傾向です。今回も知らない世界をたくさん見せていただいて、審査していく楽しかったです。



Profile

1958年徳島県生まれ。小学生の頃よりカメラに興味を持ち作品作りに励む。中学生の時に地元の新聞に作品が掲載。そのことをきっかけに写真家を目指す。高校時代の二科展入選をはじめ、様々な「最年少」記録を作る。27歳で受賞した木村伊兵衛賞も当時最年少。その後「楽園」をテーマに世界各地のリゾートを撮影。「楽園」は日本にもあると、屋久島、富士山、日本の世界遺産などを撮影。近年は国宝の仏像、京都御所、桂離宮、伊勢神宮、東大寺などを撮影。50冊を越える写真集を発表している。代表的な写真集『RAKUEN』(小学館)『SAHARA!金の砂 銀の星』(文藝春秋)『富士山』(講談社)『世界遺産 屋久島』(小学館)『京都の御所と離宮』(朝日新聞出版)『室生寺』(クレヴィス)『東大寺』(小学館 SUMO BOOK)など。

[天地開闢(てんちかいびやく) 人類がいない地球の姿が見られる場所]

中島 たかし

作品サイズ:A3ノビ、ブック形式36枚組　　使用プリンター:エプソン「SC-PX1V」　　使用用紙:エプソン「Ultra Premium Photo Paper Luster」

● 審査員講評

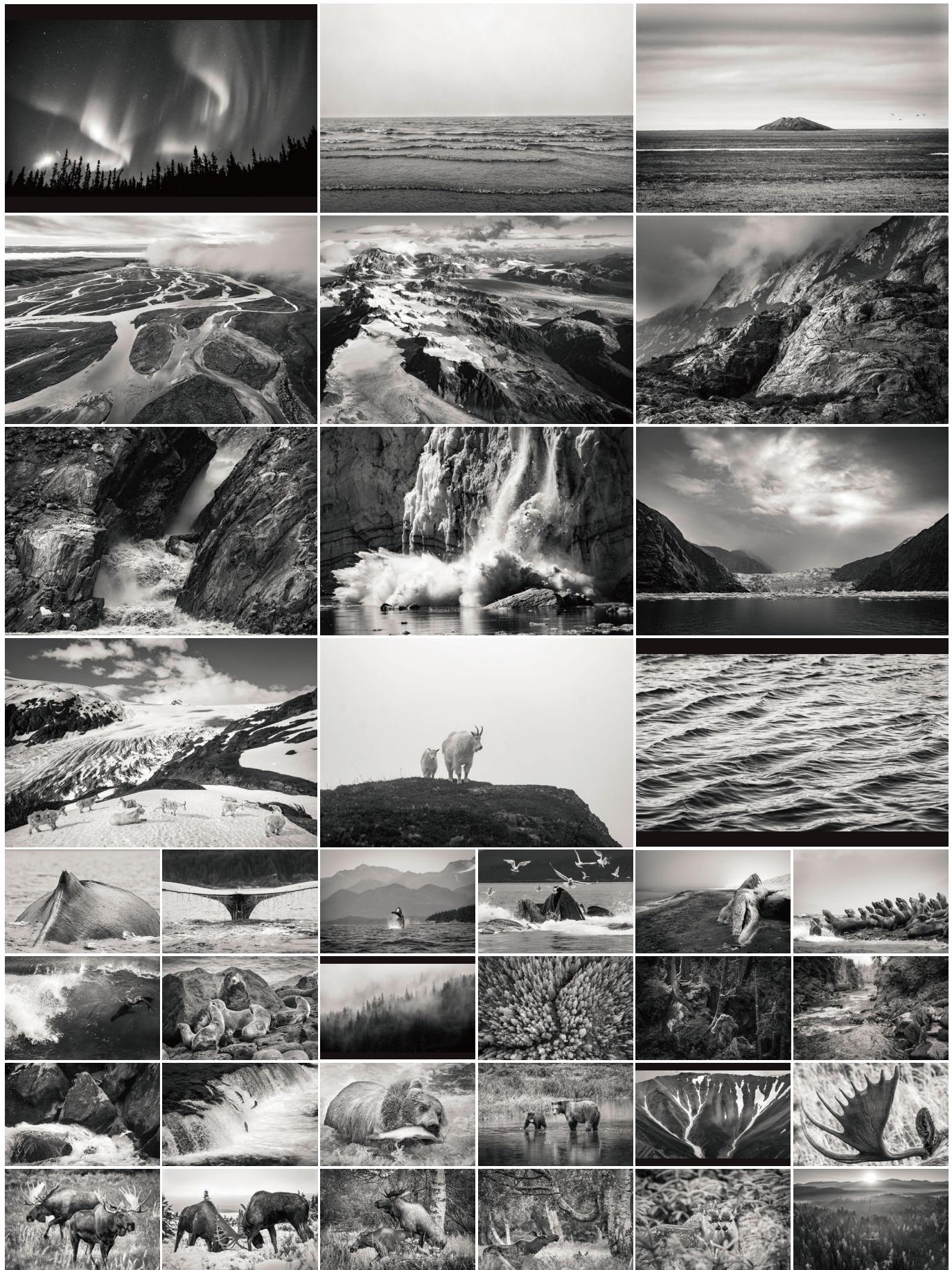
田沼 武能

広大なアラスカの地で“人間の居ない世界”を撮るという、壮大な計画のもとに作り出された作品です。観光で行ってすぐに撮れるものではなく、何度も、または長期の大自然にチャレンジしたことで得られた素晴らしい自然のドラマを捉えた作品です。しかも、これをモノクロで仕上げている点は、本作の魅力の一つになっています。景色が良いとカラーで写真を残したりますが、あえてモノクロに仕上げていることで、作者のプロとしての信念が、1枚1枚の写真から、ひしひしと感じられます。もちろん、アラスカにぼれ込んで撮影していることも伝わってきます。そうした作者の精神が、作品に強く現れていることに、強く感動しました。

三好 和義

壮大なスケールで展開されるストーリーが、分かりやすく構成された作品です。本作は36点の写真からなるブック形式ですが、動物や自然風景の組み合わせ方や編集の仕方が上手いと思います。天地開闢という古事記から引用したタイトルも、なるほどと思える内容です。プリントやペーパー選びが的確で、黒がしっかりと締まって、微妙な調子がシャープにされているなど、作者のこだわりを感じます。プリントサイズがA3ノビと大きく、迫力があるのも作品のテーマに最適です。どうやって撮ったのだろうかと不思議になる写真が多いのも本作の魅力です。空からの撮影など撮り方が工夫され、ユニークな視点の写真が多いのが面白いと感じました。

グランプリ Grand Prix



● 優秀賞



[エゾモモンガの冬] 後藤 健翔

作品サイズ:A4、6枚組作品

使用プリンター:エプソン「SC-PX1V」

使用用紙:エプソン「写真用紙クリスピア＜高光沢＞」

● 審査員講評

田沼 武能

本作は、作者が被写体であるエゾモモンガを研究し、生態をよく知っているからこそ撮れた作品だと思います。被写体が飛んでいるシーンや、つがいで木の実を食べているシーンなどは、モモンガが住みついている所に通い詰めて時間をかけて撮っているからこそ、棲息状況が目に見える力作となったのでしょう。また、木の幹にある巣穴から顔を出している写真では、エゾモモンガの可愛い表情が際立って写し出されていて、作者のテクニックの高さが見てとれます。モモンガの魅力を克明に写し出した作品です。

三好 和義

冬のエゾモモンガの様子を捉えた作品です。被写体の毛並みがふわふわとしている様子や背景の樹氷などが、極めてシャープに写されていて美しく感じられます。プリントも空などのブルーが美しく、全体に明るい調子で統一されていて、すがすがしさを感じさせてくれます。こんな写真が撮れるのかと驚いたのは、被写体が飛んでいるシーンです。小さな動物の一瞬の動きであり、ピントを合わせるだけでも難しいはずなのに見事に捉えています。このほか、被写体の後ろ姿などの生態が愛情を持って捉えられているのは、本作の奥深さだと感じました。

● 入選



[Run through the clouds]
秋山 ゆき子

作品サイズ : A3ノビ、単作品
使用プリンター : エプソン「SC-PX5Vi」



[紅原の狐] 蜂谷 雅人

作品サイズ : A3ノビ、単作品
使用プリンター : エプソン「SC-PX1V」



[愛情] 増 敏昭

作品サイズ : A4、単作品
使用プリンター : キヤノン「PIXUS XK80」



[朝陽に浮かれ踊るスキちゃん]

尋木 章史
作品サイズ : A3、単作品
使用プリンター : キヤノン「PIXUS iP8730」



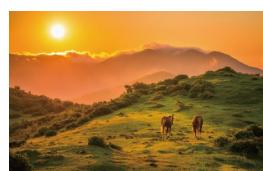
[雑草と呼ばれるものたち]

上瀧 伸博
作品サイズ : A4、18枚組作品
使用プリンター : エプソン「SC-PX1V」



[樹と生きる] 入江 貴史

作品サイズ : A3、6枚組作品
使用プリンター : エプソン「SC-PX5Vi」



[摩天崖の朝] 上田 孔希

作品サイズ : A3、単作品
使用プリンター : エプソン「SC-PX5Vi」



[Arcs] 松井 大典

作品サイズ : A3ノビ、単作品
使用プリンター : エプソン「SC-PX1V」



[蓮池の面々] 百崎 礼治

作品サイズ : A4、6枚組作品
使用プリンター : エプソン「SC-PX5Vi」



[砂に生きる] 杉本 信二

作品サイズ : A4、ブック形式104枚組作品
使用プリンター : エプソン「PX-5V」

● 審査員賞



田沼 武能 賞

[一番のしばれ]

飯高 光紀

作品サイズ : A3ノビ、単作品
使用プリンター: エプソン「EP-4004」
使用用紙 : エプソン
「写真用紙クリスピア
<高光沢>」



三好 和義 賞

[ハクトウワシに
魅せられて]

伊藤 慶

作品サイズ : A3ノビ、4枚組作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX7VII」
使用用紙 : エプソン「写真用紙
クリスピア <高光沢>」

● 審査員講評

田沼 武能

大地のしばれている様子を画像化するという難しいテーマを、寒さでふくれ上がった写真で表現している点に感心しました。日の出前の光景を捉えることで、地平線から空にかけて刻々と変化する色彩のドラマと、大地がしばれて浮き上がっている様子をこんなにも美しく表現しており、私の目を虜にしました。何の変哲もないとも思える光景から、これだけの作品に作り上げられたのは、作者の感性と表現力の素晴らしいと思います。



田沼 武能 賞

[美しいカール シシイカ]

市村 賢二

作品サイズ : A4、単作品
使用プリンター: エプソン「EP-10VA」
使用用紙 : フジフィルム
「写真仕上げPro
超光沢 厚手」

三好 和義

カナダでハクトウワシを長期に渡って観察して撮影された作品です。数多く撮った中から、4枚を選んだことで完成度が高まり、作者の研ぎ澄まされた感覚も読み取れます。いずれも素晴らしい写真ですが、中でも巣に2羽の親鳥と雛がいる写真は、手前に緑を入れて前ポケにするといった技術面だけでなく、2羽の親鳥の愛情と作者の愛情がリンクして感じられる美しい写真です。プリントも美しく、空気感まで伝わってくるかのようです。



三好 和義 賞

[赤富士]

小山 幹男

作品サイズ : A3、単作品
使用プリンター: キヤノン
「PIXUS PRO-100S」
使用用紙 : エプソン
「写真用紙クリスピア
<高光沢>」

● 審査員講評

田沼 武能

静岡県沼津市の大瀬崎で撮られた、シシイカの写真とのこと。イカの生態写真ではありますが、足が渦巻き状になっていて、その光り輝く様子は何とも不思議な印象を受けます。また体形の面白さや美しさから、最初に見たときは、イカの写真であることに気付かない程度でした。それだけに、この様子を捉えるには、相当な水中写真の技術と被写体を見つける時間や、努力が必要だったのではないかと思われます。静にして動を感じる見事な作品です。

三好 和義

富士山の写真はよく見ますが、夏の赤富士というのは比較的珍しいかと思います。どっしりとした富士山と枝ぶりの良い大木、さらには雲海が寄せている様子を安定感のある構図で捉えていて、重厚感を醸し出しています。絵画的ではありますが、格調高い美しい作品に仕上がっています。シャドー部にわずかに調子を残していたり、空や赤富士のグラデーションを美しく再現したりして、撮影技術とプリント技術の上手さを感じられます。

● 佳作



[赤の継承] 桜庭 一憲

作品サイズ : A3ノビ、8枚組作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX5VII」



[彼方の園] 神村 八重美

作品サイズ : A3ノビ、12枚組作品
使用プリンター: エプソン「PX-7V」



[羚羊親子] 津島 隆雄

作品サイズ : A3ノビ、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX3V」



[秋映] 島田 稔

作品サイズ : A3ノビ、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX1V」



[テイクアウト] 大島 俊三

作品サイズ : A3、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX7VII」



[トルネード] 岩切 美春

作品サイズ : A3ノビ、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX5VII」



[はい！チーズ] 宮崎 維津子

作品サイズ : A4、単作品
使用プリンター: キヤノン「PIXUS TS8230」



[朝のしじまに浮かぶ糸] 鈴木 宏美

作品サイズ : A3、単作品
使用プリンター: エプソン「EP-10VA」



[友だち] 安井 孝

作品サイズ : A4、単作品
使用プリンター: エプソン「PX-G5300」



[阿蘇の夜明け] 森 光秀

作品サイズ : A3ノビ、単作品
使用プリンター: キヤノン「PIXUS iP8730」

● 優秀賞



[夏祭りの少女たち] 山中 健次

作品サイズ:A3ノビ、8枚組作品　　使用プリンター:エプソン「SC-PX3V」
使用用紙:エプソン「写真用紙<絹目調>」

● 審査員講評

田沼 武能

一見、同じようなシチュエーションで撮った記念写真のようにも見えますが、子どもたちの気持ちまで写し込まれた奥の深い作品です。例えば、少女たちが人形を背負っていたり、スマートフォンで電話をしていたりといった写真は、極々当たりまえの少女たちの姿を捉えています。しかし、その1枚1枚の写真からは、現代の少女たちの持つ物語が感じられます。つまり、情景描写に長けているのです。さりげなく少女たちの感性を写し込み、それを作者の狙いにかなった1つのストーリーに見せるのは素晴らしい技術力であり、1枚1枚見るとそれぞれに少女の心理まで捉えており感心させられます。

三好 和義

本作の登場人物は全て別の少女ですが、やや遠めの位置から望遠レンズで撮っている、全て縦位置で撮られている点などが共通していることで、作品に統一感が出ています。作品の面白さはいくつかありますが、8枚の写真の組み合わせの面白さも、その1つです。少女が夕日に照らされたり、持っているものが、人形やスマートフォンなどの今を感じさせるものであったりと、バリエーションに富んでいます。そして何より魅力的なのが、少女の自然な表情が撮られていることです。それらにより、過ぎ行く夏のイメージが上手く醸し出されています。

● 入選



[大平原に馬を追う] 河原 均
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン「PX-G5300」



[君が好き !!] 植木 由美
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：キヤノン「PIXUS PRO-100」



[思い出のサマー] 忽那 博史
作品サイズ：A3ノビ、単作品
使用プリンター：エプソン「PX-5V」



[ダルマ 夕陽のファミリー] 岡本 一志
作品サイズ：A3、単作品
使用プリンター：エプソン「PX-5002」



[ソバ畑で一休み] 渡邊 雅春
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン「EP-883AB」



[もみじくついた] 今 明美
作品サイズ：A3ノビ、単作品
使用プリンター：エプソン「EP-4004」



[これからも「ふたり」] 瀧山 瑛空
作品サイズ：A3ノビ、9枚組作品
使用プリンター：エプソン「SC-PX5V」



[富士山に泳ぐ] 鎌石 和佳
作品サイズ：A3ノビ、単作品
使用プリンター：エプソン「PX-5V」



[幸せは日常の中に……] 高津 弘人
作品サイズ：A4、4枚組作品
使用プリンター：キヤノン「PIXUS iP8730」



[热演] 佐海 忠夫
作品サイズ：A3ノビ、単作品
使用プリンター：キヤノン「PIXUS PRO-10S」

● 審査員賞



田沼 武能 賞

[ラダック 天空の旅]

高橋 朝彦

作品サイズ : A4、40枚組作品
使用プリンター: エプソン「EP-982A3」
使用用紙 : エプソン「写真用紙光沢」



三好 和義 賞

[巡礼の旅]

豊田 郁夫

作品サイズ : A4、21枚組作品
使用プリンター: エプソン「PX-7V」
使用用紙 : エプソン
「写真用紙クリスピア
<高光沢>」

● 審査員講評

田沼 武能

本作は、インド北端の地域に住む人々の宗教行事を主として撮影しています。作者は、その行事と民族衣装を身に着けて参加している人々を撮影していますが、その表情や情景は、現地の人の中に入り込んで仲間意識にならなければ撮れないような魅力的なものになっています。中には現地の人々の生活を写したカットもあり、優れたドキュメント作品です。何より、その表情や情景を見ていると、この地域の時代背景が見る人に伝わってくるエキゾチックを感じられる素敵なお品です。



田沼 武能 賞

[がまん]

竹内 康

作品サイズ : 四切、単作品
使用プリンター: エプソン
「SureLab SL-D3000」

三好 和義

作者は、四国八十八カ所の巡礼を四季を追って行い、何回も訪ねています。作品には必ず1人、巡礼をしている人が写し込まれていて、巡礼のときの心象を上手く表現していると思います。四国八十八カ所となると、88枚の写真で構成してしまいそうですが、作者は21枚の写真で過不足なく構成していて、写真の組み合わせ方に上手さを感じます。巡礼の満足感や旅の印象を、ドラマチックかつ印象的に描き出すことに成功しています。



三好 和義 賞

[旅路の華]

伊藤 浩之

作品サイズ : A3ノビ、59枚組作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX1VL」
使用用紙 : エプソン「フォトマット紙
顔料専用」

● 審査員講評

田沼 武能

この作品は、祭りに参加するために待機している男衆たちが、寒さに耐えてがまんしている様子を撮ったものだと思います。がまんしている表情が、各々の顔にユーモラスに表れていて、人間臭さを感じさせます。この祭りに参加することは、いわば男の晴れ舞台なのだと思いますが、祭りに参加する誇らしさも、表情に出ていて楽しい作品になっています。私も祭りは大好きなので、こうした表情を見ると、つい参加したくなる魅力が湧いてきます。

三好 和義

アジアなどの世界中の人々をスナップした写真です。独特な切り取り方が魅力的で、見応えのある59枚の作品になっています。さりげない風景の中に人々の生活が写り込んだ深みのある作風で、ドラマや面白さが詰まっています。現地の人と交流しながら撮影したことでカメラ目線の写真も多く、それらが作品の持つインパクトになっています。フォトマット紙使用のプリントは、紙の落ち着いた質感と、旅先の乾いた空気感がマッチしています。

● 佳作



[「ぼくらの学び舎」～ラオス北部少数民族の学校を訪ねて] 松浦 昭宏
作品サイズ : A4、35枚組作品
使用プリンター: エプソン「EP-50V」



[平成は群れていた] 伊藤 邦美
作品サイズ : A3、48枚組作品
使用プリンター: エプソン「PX-5V」



[火事が狂く] 森口 正基
作品サイズ : A3、単作品
使用プリンター: キヤノン「PRO-G1」



[コロナ沈静を願って] 南 秀人
作品サイズ : A4、単作品
使用プリンター: キヤノン
「PIXUS PRO-100」



[海の幸] 森本 孝
作品サイズ : A4、単作品
使用プリンター: エプソン「EP-30VA」



[インドの田舎町] 田代 元
作品サイズ : A3ノビ、6枚組作品
使用プリンター: エプソン「SC-P9050G」



[幸せな夢] 田中 恵子
作品サイズ : A4、単作品
使用プリンター: エプソン
「EW-M973A3T」



[Sunny day Holiday] 亂 直美
作品サイズ : A4、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX5VII」



[花魁道中] 山崎 秀司
作品サイズ : 四切、単作品
使用プリンター: エプソン「PX-5500」



[伝統行事] 沖村 喬義
作品サイズ : A4、単作品
使用プリンター: エプソン「EP-982A3」

● 優秀賞（個人制作）



[ぼくの小宇宙]

石井 瑞正

宮城県白石工業高等学校

作品サイズ:A3ノビ、単作品

使用プリンター:エプソン「EP-50V」

使用用紙:エプソン「写真用紙クリスピア<高光沢>」

● 審査員講評

田沼 武能

この写真を見て、私が子供の頃に通ったおもちゃ屋さんを思い出しました。辺りいち面に商品があり、キヨロキヨロしながら欲しい物を選ぶのが楽しみでした。本作のタイトルからは、現代の高校生が当時の私と同じような感覚で撮っているのだと思われ、嬉しくなりました。撮影場所は、天井に鏡がある不思議な店ですが、鏡と赤い帽子がこの写真のポイントになり、小宇宙的な広がりを際立たせています。写真を撮るときは、面白いな、写真になるなという閃きが大切ですが、作者には、そうした閃きがあったのだと思います。素晴らしい感性です。

三好 和義

玩具屋、あるいは雑貨屋かもしれませんが、天井までびっしりと並べられた切手や玩具を背景に、花火を手にした少年が上を見ています。この少年の被っている赤いお洒落な帽子をポイントに、広角レンズを使って背景を広く入れたことで、画面の隅々まで緊張感のある写りを演出しています。赤い帽子のほか、玩具などが背景にあることで色彩的にも色鮮やかで、少しノスタルジックな雰囲気もあります。高校生の作者にとっては、昔普通だった懐かしい場所、あるいは今行っても楽しい場所かもしれません、作者の奥深い気持ちは表現された良い写真です。

● 審査員賞



[生徒自由主義
～僕が転校した学校～]
山本 翔太
福井県立丹生高等学校
作品サイズ: A3、3枚組作品
使用プリンター: エプソン
「SC-PX3V」



[生業～い草と共に生きる～]
村島 聖玲
八代百合学園高等学校
作品サイズ: A4、10枚組作品
使用プリンター: エプソン「PX-5V」



[あおい青春]
石崎 汐音
中越高等学校
作品サイズ: A4、単作品
使用プリンター: キヤノン「PIXUS PRO-100S」



[僕の愉快な仲間たち]
成川 彩翔
宮城県白石工業高等学校
作品サイズ: L判、15枚組作品
使用プリンター: エプソン「EP-50V」

● 優秀賞（グループ制作）



[热血応援団～コロナ禍それぞれの想い～]

群馬県立前橋工業高等学校
写真部

作品サイズ：A3ノビ、10枚組作品　　使用プリンター：エプソン「SC-PX7Vi」
使用用紙：キヤノン「写真用紙・絹目調」

● 審査員講評

田沼 武能

グループ制作は、コロナ禍で多人数で集まるのが難しく、残念ながら応募いただけなかった方々も多かったのではと察します。そうした中で、本作は、露出をアンダー気味に応援団の群像を捉えることで統一感を出し、ストーリー展開しているのが成功した秘訣です。いかにも热血応援団という光景を演出し、ストーリーを作ったのだと思いますが、“热血の度合い”といったものが、統一した露出の調子から感じられ、構成方法にもたけています。これらが組み合わさり、これだけの表現を可能にしたのです。

三好 和義

10枚の組写真で、応援団をドラマチックに捉えた作品です。本作は、各々が撮った写真に統一感を持たせるため、特徴的な現像処理を行っており、それが成功しています。具体的には、露出を極端にアンダーにしたり、覆い焼きを行ったりするなど、意図的に調子を作り上げた処理で、統一感のほかインパクトもあります。内容的にはマスクをした人たちがポイントになっていたり、今の若者の悩みやコロナ禍ならではの視点を表現していたりします。これは後々、こんな時代があったという、記録写真としても優れたものになるのではないかと思います。

● 入選



[日々、日々] 田嶋 莉子 埼玉栄高等学校
作品サイズ：A4、ブック形式22枚組作品
使用プリンター：エプソン「PX-5V」



[孤独] 内田 莉奈 ハ代白百合学園高等学校
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン「EP-10VA」



[dramatic] 菊池 純平 茨城県立笠間高等学校
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン「SC-PX5Vi」

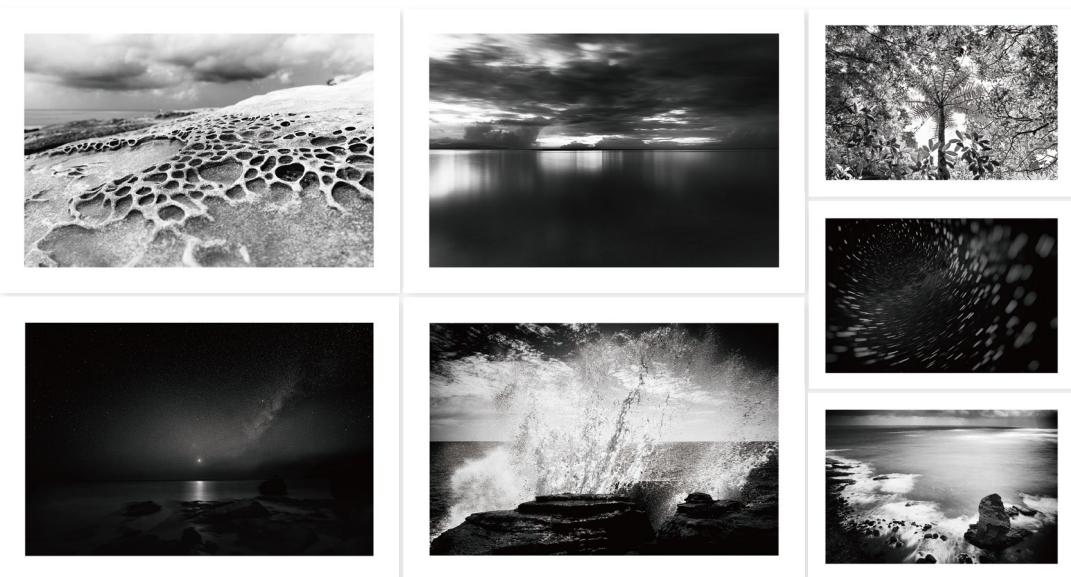


[ウインク] 岩佐 姫奈 徳島県立阿南光高等学校
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン「SC-PX3V」



[死闘] 滝澤 莉美 新潟県立長岡農業高等学校
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン「PX-5V」

● 優秀賞



[ニライカナイ] 西田 信之

作品サイズ:A2、7枚組作品 使用プリンター:エプソン「PX-H10000」 使用用紙:ピクトラン「局紙」

● 審査員講評

田沼 武能

日本画家、田中一村の作品を思わせる作風で、何の変哲もない島の海を題材にしているながら、神の住む大自然のようなイメージを作り上げています。作者本人のイメージが写真上に作り込まれているのですが、作者の感性の素晴らしいを感じられます。中には、宇宙を感じさせるような抽象的な表現を行ったものがあるなど、写真1枚1枚の表現もドラマチックで素晴らしい、画面構成も上手い作品です。本作は、大きなA2の用紙にプリントされていますが、これにより作者の意図が、見る人にいっそう強く伝わる迫力のある作品になっています。

三好 和義

タイトルは、沖縄方面の言葉で「海の向こうにある楽園」といった意味ですが、作者はそれを抽象的に捉えて表現しています。被写体は海が中心ですが、抽象化したことでドラマチックな仕上がりになっています。A2の大きなプリントで迫力があり、用紙をピクトランの局紙にすることで、黒が綺まって重厚さが感じられ、作品の中に引き込まれるような魅力もあります。写真点数は7点ですが、内容に照らして過不足なく、テクニックを駆使して作り上げた、宇宙を見るような壮大な世界観は、ニライカナイの意味や概念にも上手くマッチしています。

● 入選



[餌取闘争] 稲垣 敏彦
作品サイズ: B4、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX5VII」

[初夏の頃] 根鉢 裕之
作品サイズ: A4、単作品
使用プリンター: エプソン「PX-5002」

[考える人] 生駒 審一
作品サイズ: A4、単作品
使用プリンター: エプソン「EP-709A」

[追憶] 安部 諭
作品サイズ: A3、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX3V」

[KAGAMI]
BOITEAU PATRICE
作品サイズ: A3、単作品
使用プリンター: エプソン「PX-7500」



[海の男] 横口 良夫
作品サイズ: A3ノビ、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX1V」



[氷雪に生きる] 西岡 尚央
作品サイズ: A4、単作品
使用プリンター: キヤノン「PIXUS PRO-100」



[ツララ] 西川 正治
作品サイズ: A3、単作品
使用プリンター: エプソン「PX-5800」



[静寂の中] 大西 杏奈
作品サイズ: A3、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX5VII」



[引き潮の創造] 阿部 優
作品サイズ: A3ノビ、10枚組作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX4IV」

● 審査員賞



田沼 武能 賞

[O氏のささやかなる日常]

鍵本 裕次

作品サイズ : A4、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX5VII」
使用用紙 : ピクトリコ
「GEKKOパライタ」



三好 和義 賞

[小川の小さなアート]

村松 克則

作品サイズ : 四切、9枚組作品
使用プリンター: キヤノン
「PIXUS PRO-10」
使用用紙 : エプソン
「写真用紙クリスピア
<高光沢>」

● 審査員講評

田沼 武能

この作品は、広島の原爆ドームを背景に、O氏がスズメに餌をあげている1シーン。これは、O氏の日課であり、生き甲斐なのですが、この写真で目をひくのは、その構図です。O氏の腕から下は写っておらず、背景の原爆ドームの屋根も写っていません。といって、画面の上や下を入れたらどうかと考えてみると、普通の写真になってしまって面白くないのです。何とも絶妙なバランスの上に成り立っていて、無性に気になるユニークな1枚です。



田沼 武能 賞

[ナイスショット！]

萩原 由紀夫

作品サイズ : A3、単作品
使用プリンター: エプソン「SC-PX1V」
使用用紙 : エプソン
「写真用紙クリスピア
<高光沢>」

三好 和義

本作の面白い点は、アメンボが表面張力で水面に浮くことできる、波紋の美しさに着目した点です。作品は何年もかけて撮影された9枚の写真で構成されていますが、どれも水面のつるつとした質感が、写真ならでは、あるいはプリントならではの表現になっています。アングルを下げ、精神統一して撮ったかのような作者の独特な世界観が表現できているのは、素晴らしいと思います。水の表情の面白さに気付かせてくれた、新鮮な作品です。



三好 和義 賞

[粉かけの日]

後藤 文男

作品サイズ : A4、10枚組作品
使用プリンター: キヤノン
「PIXUS PRO-1」
使用用紙 : フジフィルム「画彩プロ」

● 審査員講評

田沼 武能

水しぶきが四方八方に飛んでいる様子を、絶妙な間合いで撮影した1枚です。一番面白いと感じるのは、水しぶきが飛んでいる様子が際立って見え、タイトル通りの「ナイスショット」になっている点です。人物も写っていますが、シルエットになってほとんど目立ちません。加えて、作者は広角レンズでこの写真を撮ったのだと思いますが、飛沫がカメラに向かって飛んできているのにレンズに水滴が付くことなく撮れています。何とも不思議な瞬間です。

三好 和義

本作は、粉かけ祭りの様子を書いた作品ですが、モノクロームにしたことでの独特な質感が出ているのが面白いと感じました。高コントラストで荒れた粒状感のある現像処理も作品にマッチして、ドラマチックに仕上がっています。人々の表情が生き生きとしていて、作者も興奮しながら祭りに参加し、撮影している様子が作品から伝わってきます。10枚の組写真にしたことで、独特的な臨場感や迫力が伝わってきて、見応えがあります。

■ エプソンフォトグランプリ2021概要

■ 応募部門

[ネイチャー部門](サイズ:六切・A4以上)

主として自然風景、動植物、昆虫などをテーマとしてプリントされた写真作品。

[ヒューマンライフ部門](サイズ:六切・A4以上)

人物スナップ、都市景観、暮らし、ドキュメンタリーなど主として人々の生活をテーマにプリントされた写真作品。

[モノクロ作品部門](サイズ:六切・A4以上)

自由なテーマで、モノクロで表現されたプリント作品。

[学生部門](サイズ:L判以上)

ジャンルは自然、風景、動植物、人間、暮らしなど、自由なテーマでプリントされた写真作品。※応募時点で、小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校に在籍する学生の方

■ 賞・賞金・副賞

[グランプリ]

賞金 100万円 (1名)

[ネイチャー部門][ヒューマンライフ部門]

- | | | |
|-------|-------|--------------|
| ・優秀賞 | | 賞金30万円(各1名) |
| ・審査員賞 | | 賞金 5万円(各4名) |
| ・入選 | | 賞金 5千円(各10名) |
| ・佳作 | | 表彰状(各10名) |

[モノクロ作品部門]

- | | | |
|-------|-------|-------------|
| ・優秀賞 | | 賞金30万円(1名) |
| ・審査員賞 | | 賞金 5万円(4名) |
| ・入選 | | 賞金 5千円(10名) |

[学生部門]

- | | | |
|--------------|-------|--------------------|
| ・優秀賞(個人制作) | | SC-PX1V(1名) |
| ・優秀賞(グループ制作) | | SC-PX1V(1グループ) |
| ・審査員賞 | | EW-M973A3T 各1台(4名) |
| ・入選 | | EW-M873T 各1台(5名) |

■ HPアドレス www.epson.jp/photocontest/